

片頭痛の最新治療薬（予防薬）

⑥ 抗CGRP

- ① CGRPとは、Calcitonin Gene-related Peptide
カルシトニン遺伝子関連ペプチドのことである。

- ② 三叉神経節から分泌されたCGRPは脳の血管、特に
脳の外側を覆う硬膜の血管の平滑筋細胞にあるCGRP
受容体に作用して、血管拡張＋炎症を起こし、片頭痛
が発症する。

- ③ 片頭痛発作の予防を目的とした注射薬が開発され、
抗CGRP抗体（エムガルティ®、アジヨビ®）
抗CGRP受容体抗体（アイモビーグ®）
1か月に1回の皮下注で、片頭痛発作の日数減少効果
が明らかになっている。（2021年発売）

- ④ 効果（6か月平均）
効果は1か月目から出るが、6か月平均で評価すると
3種類（エムガルティ、アジヨビ、アイモビーグ）
とも有効率はほぼ同じで、
50%レスポonder 6割
75%レスポonder 3～4割
100%レスポonder 1～2割となっている。

片頭痛の頻度は半分程度に減り、頭痛の強さもかなり減り
しかも大した副作用も無いということで好評ではあるが、
薬価が高いので気楽に使えないという問題点がある。